【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年11月24日
【会社名】	株式会社識学
【英訳名】	ＳＨＩＫＩＧＡＫＵ．Ｃｏ．，Ｌｔｄ
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　安藤　広大
【本店の所在の場所】	東京都品川区大崎二丁目９番３号　大崎ウエストシティビル１階
【電話番号】	03－6821－7560(代表)
【事務連絡者氏名】	経理財務部長　宮下　貴行
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎二丁目９番３号　大崎ウエストシティビル１階
【電話番号】	03－6821－7560(代表)
【事務連絡者氏名】	経理財務部長　宮下　貴行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【提出理由】

当社は、以下のとおり当社の連結子会社である株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ（以下「識学GCP」といいます。）が、株式会社中込製作所（以下「中込製作所」といいます。）の発行済株式の全部を取得することを決定いたしました。このため、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第３号及び第16号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

２【報告内容】

１．連結子会社による子会社取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第16号の２に基づく報告内容）

（１）連結子会社による子会社取得の決定に関する事項

当社は、以下の連結子会社が子会社を取得することを2026年11月24日開催の取締役会において決定いたしました。

項目	内容
名称	株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ
住所	東京都品川区大崎二丁目９番３号　大崎ウエストシティビル１階
代表者の氏名	代表取締役社長　池浦　良祐

（２）取得対象子会社の概要

①　商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

項目	内容
商号	株式会社中込製作所
本店の所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦二丁目７番21号
代表者の氏名	代表取締役会長　日向　亮司／代表取締役社長　長田　洋一
資本金の額	98百万円（2026年６月30日現在）
純資産の額	658百万円（2026年６月30日現在）
総資産の額	1,679百万円（2026年６月30日現在）
事業の内容	スチール製品（店舗什器、ロッカー、サーバーラック等）の製造・販売、木製造作家具の製作・施工及びオフィス家具の販売

②　最近３年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益

決算期	2024年６月期	2025年６月期	2026年６月期
売上高	2,411百万円	2,304百万円	2,405百万円
営業利益	127百万円	175百万円	219百万円
経常利益	147百万円	196百万円	248百万円
当期純利益	76百万円	79百万円	183百万円

（注）上記は中込製作所の決算報告書に基づく単体の数値（未監査）であり、百万円未満を切り捨てて表示しております。

③　提出会社及び当該連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

項目	内容
資本関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

（３）取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、組織コンサルティング事業で培った「識学ノウハウ」を核とした多層的成長モデルのもと、長期保有型M&Aを第二の恒常的成長エンジンと位置づけており、その取り組みの一環として、中込製作所の株式取得を決定いたしました。

中込製作所は、1948年の創業以来、神奈川県横浜市を拠点とするスチール製品メーカーであり、売上高の過半を占めるスチール製品事業では、ドラッグストアやコンビニエンスストア等の小売店舗向けのレジ台・陳列台等の店舗什器、ロッカー、データセンター向けのサーバーラック、ステンレス製の移動棚や物流センター向けの作業台等を、大手オフィス家具メーカーからの受注を中心に製造しております。設計・CAMから、材料自動倉庫と連動したファイバーレーザー複合加工機による24時間の自動加工、パネルベンダーによる曲げ加工、溶接、塗装ロボットを備えた焼付塗装ライン、組立及び出荷までを自社工場で一貫して手掛けており、特注品を短納期・小ロットで製造できる点に強みを有しております。また、ゼネコン等を顧客として、保育園・学校・病院・介護施設等に設置する収納棚・カウンター等の木製造作家具の設計・施工管理を手掛けるほか、大手メーカー製オフィス家具の販売も行っております。

近年は、既存製品及び新製品の価格改定、不採算製品からの撤退及び高付加価値製品へのシフトを進めたことにより収益性が大きく向上しており、2026年６月期の売上高は2,405百万円、営業利益は219百万円となり、営業利益率は2024年６月期の5.3%から9.1%へと大幅に改善しております。また、小売店舗におけるセルフレジ・自動精算機の導入拡大に伴うレジ台の更新需要や、物流倉庫における作業台・ピッキングカート等の需要拡大を背景に、多様な仕様に柔軟に対応できる中込製作所の製品に対する需要は、今後も堅調に推移するものと見込んでおります。

このような状況のもと、当社は、中込製作所に「識学ノウハウ」を導入するPMI（買収後統合）を実施してまいります。当社の組織マネジメントの観点から中込製作所を診断した結果、改善余地が大きいことが確認されております。中込製作所は、現経営陣を中心とした組織的な経営体制への移行期にあり、責任の明確化・数値目標に基づく行動管理・権限移譲の徹底により、営業・生産・管理体制の組織的な仕組み化と生産性向上を実現し、既存顧客との取引拡大と新製品・新分野の開拓の両面から収益を計画的に伸長させることで、中込製作所の企業価値を最大化できると判断し、今般、中込製作所を連結子会社化することといたしました。

本件は、当社が掲げる「M&A・PMIを通じた連結収益基盤の確立」に資する取り組みであり、識学グループとしての組織構築ノウハウをPMIに活用し、中込製作所の組織力・収益性を計画的に引き上げることで、グループ全体の企業価値向上に貢献してまいります。

（４）取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

項目	金額
普通株式	2,027百万円
アドバイザリー費用等（概算）	139百万円
合計（概算）	2,166百万円

２．特定子会社の異動（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第３号に基づく報告内容）

（１）当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

上記「１．連結子会社による子会社取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第16号の２に基づく報告内容）（２）取得対象子会社の概要　①　商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容」に記載のとおりであります。

（２）当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

①　当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数

- **異動前　－個**
- **異動後　196,000個**

（注）当社の完全子会社である識学GCPが取得するものであり、当社の直接所有はありません。

②　当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

- **異動前　－%**
- **異動後　100%（注）**

（注）識学GCPの所有割合であり、当社による間接所有割合は100%であります。

（３）当該異動の理由及びその年月日

①　異動の理由

当社は、連結子会社である識学GCPが中込製作所の発行済株式の全部を取得することを2026年11月24日付で決定いたしました。中込製作所の資本金の額は当社の資本金の額の100分の10以上に相当することから、特定子会社に該当いたします。

②　異動の年月日

2026年12月１日（予定）

以　上